

「お客さま本位の業務運営に関する方針」に基づく取組状況について

福井信用金庫

当金庫では、2017年12月に「お客さま本位の業務運営に関する方針」を策定・公表し、本方針を全職員が遵守し、真にお客さまのお役にたてるよう取り組んでおります。

本取組状況についてお客さまにご理解・ご確認いただけるよう、2019年度の取組状況と成果指標である自主的KPIおよび共通KPIを公表いたします。

【取組方針1】お客さまにとって最善の利益を追求してまいります。

＜取組状況＞

- ・ 預かり資産販売専担者（マネープランナー）の営業店配置

本部に配置していた預かり資産販売の専担者である「マネープランナー」を増員し、2019年10月より主要店舗である5つの営業店に2名ずつ配置することにより、機動力を生かしてお客さまとのコミュニケーションを重ねることで、お客様の利益を最優先に考えお客さまにとって最適な商品を提案しております。

【取組方針2】お客さまの利益が不当に害されることのないよう対応してまいります。

＜取組状況＞

- ・ 利益相反に関する職員研修の実施

本部での集合研修において、当金庫にのみ特別な利益となるような特定の運用会社や一部の販売手数料の高い商品に偏った提案等の行為（利益相反行為）を行わないよう職員向けの研修で周知を図っております。

- ・ 利益相反状況のモニタリング

利益相反に限らず、高齢者に対する不適切販売、不適切な乗り換え勧誘、生命保険に関する意向把握・情報提供義務の不履行などがないよう、本部にてモニタリングを実施しております。

【取組方針3】お取引に関する重要な情報をわかりやすく提供してまいります。

＜取組状況＞

- ・ パンフレットの新規作成

2019年10月に新たな情報提供ツールとして、投資経験の浅いお客さま向けに「初めての投資信託」、投信インターネットサービスご利用のお客さま向けに「スマホで投資信託 スタートガイド」を作成し、ご提案の際に活用しております。

- ・ お客さま向けセミナーの開催

お客さま向けセミナーを開催し、専門の講師より預かり資産のお取引等に関する重要な情報をわかりやすく提供しております。

【取組方針4】お客さまに最適な商品・サービスの提供を行ってまいります。

<取組状況>

・投資信託商品ラインナップの見直し

2019年5月に、より幅広いお客さまニーズへの対応や決算頻度の少ない資産形成に適したファンドの新規導入などにより商品ラインナップを見直いたしました。また、投信インターネットサービスにおけるサービス向上のためご利用のお客さま専用のファンドを設定いたしました。

【新規導入ファンド】

投資対象	ファンド名	決算日
債券/国外	ドルマネーファンド	年4回
株式/国内	しんきん日経平均オープン	年1回
	しんきん好配当利回り株ファンド	年1回
	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	年2回
株式/国内外	グローバルAIファンド	年1回
	未来の世界(為替ヘッジなし)	年1回
	ワールド・ビューティ・オープン(為替ヘッジなし)	年2回
株式/国外	ディープAI	年1回
不動産/国外	ゼウスⅡ(年1回決算型)	年1回
商品/国内外	ゴールド・ファンド(為替ヘッジあり)	年1回
	ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)	年1回

【販売再開ファンド】

投資対象	ファンド名
資産複合/国内外	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
株式/国外	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド

【投信インターネットサービス専用ファンド】

投資対象	ファンド名	備考
債券/国内	日本物価連動国債ファンド	移行
債券/国外	世界のサイフ	移行
	ドルマネーファンド	新規
資産複合/国内外	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	再開
株式/国内	しんきんインデックファンド225	移行
	しんきんJPX日経400オープン	移行
	リバース・トレンド・オープン	移行
	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	新規
	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3カ月決算型)	移行
株式/国内外	ワールド・ビューティ・オープン(為替ヘッジなし)	新規
株式/国外	AI(人工知能)活用型世界株ファンド	新規
	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	再開

※備考

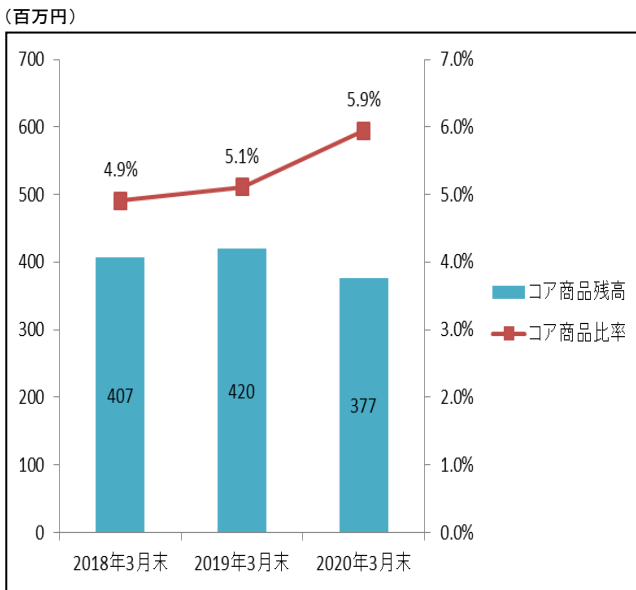
新規:新規導入したファンド
 移行:窓販から移行したファンド
 再開:販売を再開したファンド

<自主的KPI:商品ラインナップの 카테고리一別商品数および比率(2020年3月末現在)>

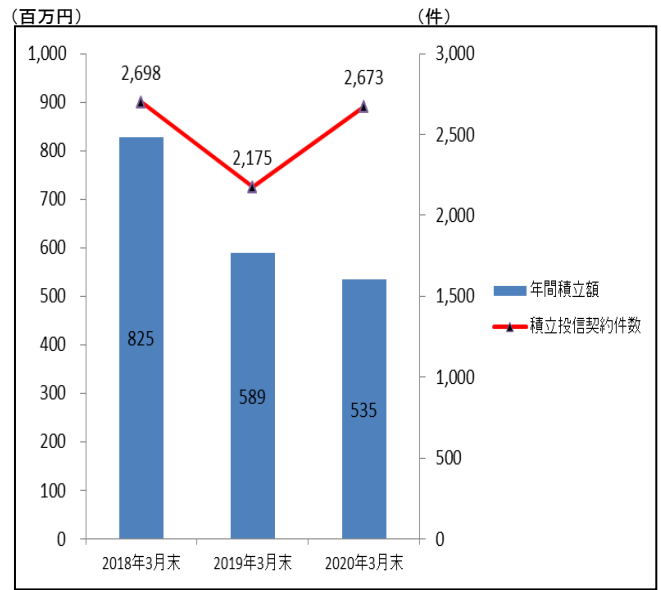
投資信託	投資対象	商品数	比率
	債券/国内	2	4.3%
	債券/国内外	1	2.1%
	債券/国外	7	14.9%
	株式/国内	9	19.1%
	株式/国内外	5	10.6%
	株式/国外	9	19.1%
	不動産/国内	2	4.3%
	不動産/国内外	1	2.1%
	不動産/国外	3	6.4%
	バランス型/国内外	6	12.8%
	商品/国内外	2	4.3%
	合計	47	100.0%

生命保険	商品カテゴリー	商品数	比率
	定額個人年金保険	3	18.8%
	変額個人年金保険	1	6.3%
	養老保険	1	6.3%
	定額終身保険	8	50.0%
	変額終身保険	1	6.3%
	定期保険	2	12.5%
	合計	16	100.0%

<自主的KPI: 投資信託残高に占めるコア商品残高比率>



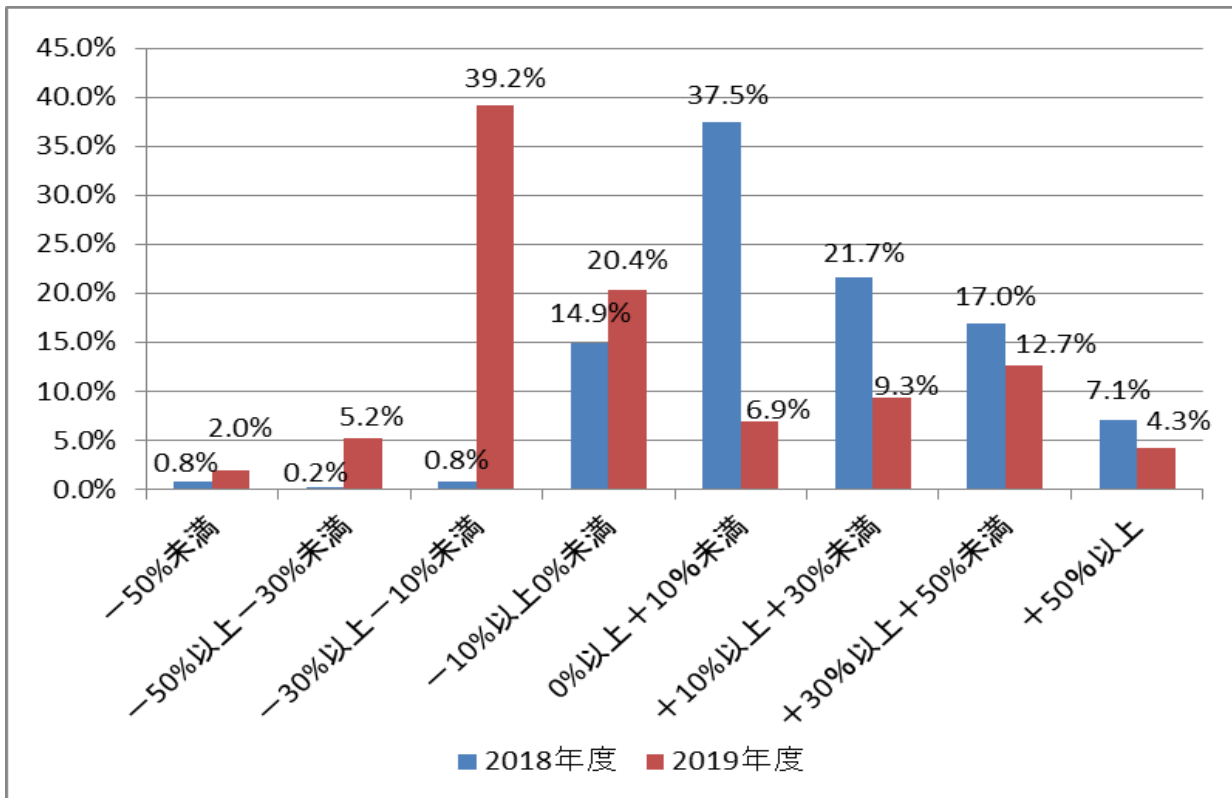
<自主的KPI: 積立投資信託契約件数および年間積立額>



※コア商品
長期的な資産形成に向けた比較的値動きの小さい商品

<共通KPI: 運用損益別お客さま比率>

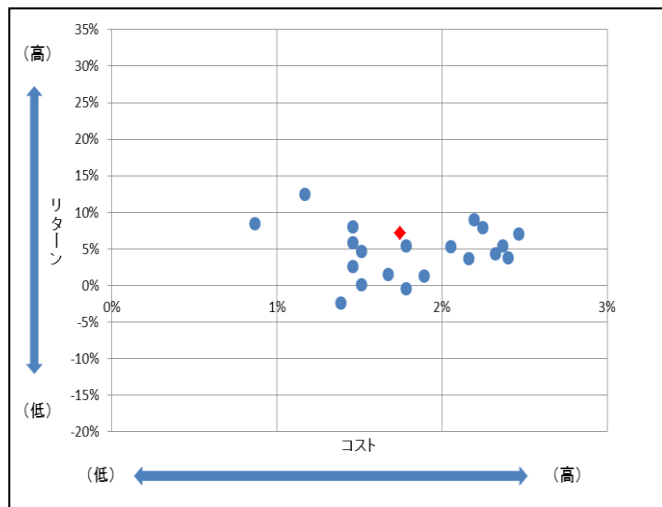
※原則として2003年6月以降の数値をもとに算出しています



※数値は過去の実績であり、将来の運用損益を保証するものではありません。

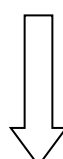
<共通KPI：投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン>

【2019年3月末現在】

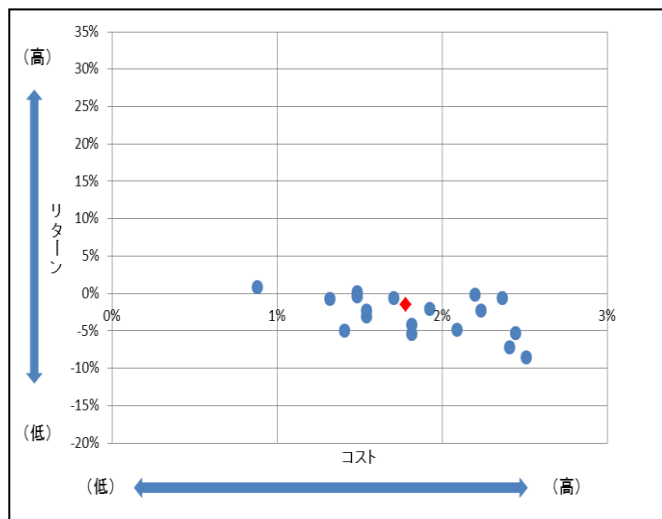


残高加重平均値 ◆	コスト	リターン
	1.75%	7.14%

順位	銘柄名	コスト	リターン
1位	新光US-REITオープン	2.19%	8.98%
2位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.46%	8.08%
3位	しんきんインデックスファンド 225	0.86%	8.42%
4位	ニッセイ/バトナム・インカムオープン	2.16%	3.73%
5位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.37%	5.47%
6位	ダイワ・インド株ファンド	2.46%	7.03%
7位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.51%	0.15%
8位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.05%	5.29%
9位	しんきん世界アロケーションファンド	1.46%	2.57%
10位	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	1.78%	-0.46%
11位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.46%	5.89%
12位	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド(為替ノーヘッジ型)	2.32%	4.35%
13位	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.40%	3.79%
14位	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3カ月決算型)	1.51%	4.69%
15位	世界のサイフ	1.39%	-2.39%
16位	しんきんアジアETF株式ファンド	1.78%	5.42%
17位	DIAMオーストラリアリートオープン	2.25%	7.96%
18位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.67%	1.49%
19位	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	1.17%	12.48%
20位	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)	1.89%	1.33%



【2020年3月末現在】



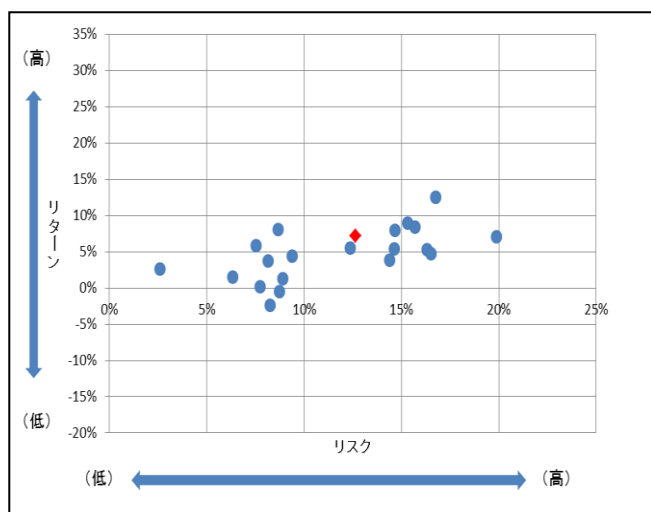
残高加重平均値 ◆	コスト	リターン
	1.78%	-1.53%

順位	銘柄名	コスト	リターン
1位	新光US-REITオープン	2.23%	-2.24%
2位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	-0.25%
3位	しんきんインデックスファンド 225	0.88%	0.87%
4位	ニッセイ/バトナム・インカムオープン	2.20%	-0.18%
5位	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	-7.21%
6位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	-4.84%
7位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	0.16%
8位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	1.54%	-3.03%
9位	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	-0.33%
10位	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド(為替ノーヘッジ型)	2.37%	-0.62%
11位	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	1.82%	-4.15%
12位	ダイワ・インド株ファンド	2.51%	-8.54%
13位	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.44%	-5.27%
14位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	0.53%
15位	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3カ月決算型)	1.54%	-2.26%
16位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	-0.56%
17位	世界のサイフ	1.41%	-4.93%
18位	しんきんアジアETF株式ファンド	1.82%	-5.45%
19位	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	-0.67%
20位	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)	1.93%	-2.09%

※数値は過去の実績であり、将来の運用損益を保証するものではありません。

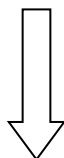
<共通KPI：投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン>

【2019年3月末現在】

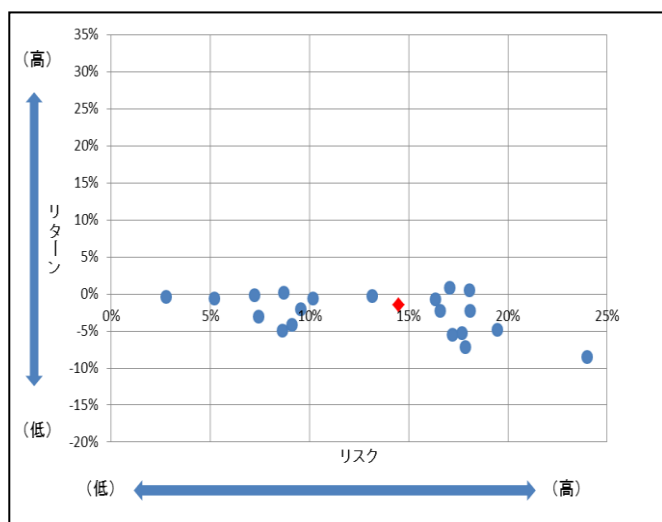


順位	銘柄名	リスク	リターン
1位	新光US-REITオープン	15.30%	8.98%
2位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	8.67%	8.08%
3位	しんきんインデックスファンド225	15.68%	8.42%
4位	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	8.14%	3.73%
5位	三井住友・グローバル・リート・オープン	12.35%	5.47%
6位	ダイワ・インド株ファンド	19.88%	7.03%
7位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	7.74%	0.15%
8位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	16.29%	5.29%
9位	しんきん世界アロケーションファンド	2.61%	2.57%
10位	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	8.72%	-0.46%
11位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	7.54%	5.89%
12位	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド(為替ノーヘッジ型)	9.38%	4.35%
13位	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	14.40%	3.79%
14位	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3カ月決算型)	16.52%	4.69%
15位	世界のサイフ	8.26%	-2.39%
16位	しんきんアジアETF株式ファンド	14.63%	5.42%
17位	DIAMオーストラリアリートオープン	14.65%	7.96%
18位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	6.34%	1.49%
19位	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	16.75%	12.48%
20位	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)	8.89%	1.33%

残高加重平均値 ◆	リスク	リターン
	12.66%	7.14%



【2020年3月末現在】



順位	銘柄名	リスク	リターン
1位	新光US-REITオープン	16.59%	-2.24%
2位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	13.16%	-0.25%
3位	しんきんインデックスファンド225	17.06%	0.87%
4位	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	7.23%	-0.18%
5位	三井住友・グローバル・リート・オープン	17.85%	-7.21%
6位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	19.45%	-4.84%
7位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	8.71%	0.16%
8位	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	7.44%	-3.03%
9位	しんきん世界アロケーションファンド	2.77%	-0.33%
10位	三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド(為替ノーヘッジ型)	10.16%	-0.62%
11位	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	9.11%	-4.15%
12位	ダイワ・インド株ファンド	23.99%	-8.54%
13位	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	17.68%	-5.27%
14位	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	18.04%	0.53%
15位	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3カ月決算型)	18.09%	-2.26%
16位	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	5.19%	-0.56%
17位	世界のサイフ	8.63%	-4.93%
18位	しんきんアジアETF株式ファンド	17.21%	-5.45%
19位	しんきん好配当利回り株ファンド	16.35%	-0.67%
20位	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)	9.56%	-2.09%

残高加重平均値 ◆	リスク	リターン
	14.50%	-1.53%

※数値は過去の実績であり、将来の運用損益を保証するものではありません。

【取組方針5】 必要な情報を提供する等のアフターフォローを行ってまいります。

＜取組状況＞

・ 定期的なアフターフォローの実施

投資信託や保険商品をご契約いただいているお客さまに、運用状況や市場動向等についてご説明をさせていただきアフターフォローを定期的実施しております。

・ アフターフォローの本部モニタリングの実施

投資信託や保険商品をご契約いただいているお客さまへのアフターフォローについては、本部（資金証券部）にてご説明した内容等をモニタリングしております。

＜自主的KPI：預かり資産アフターフォロー実施率（2019年度）＞ （単位：先）

	対象先数	うち 75歳以上	実施先数（実施率）	うち75歳以上（実施率）
投資信託	3,813	672	2,565（67.27%）	554（82.44%）
外貨建て保険	1,765	194	1,326（75.13%）	187（96.39%）
合計	5,578	866	3,891（69.76%）	741（85.57%）

※1. 2019年度の預かり資産アフターフォロー実施率は、投資信託は残高を保有されているお客さま、保険商品は外貨建ての保険をご契約されているお客さまを対象に算出いたしました。

※2. 実施率は対象のお客さまの総人数に対して、お客さまと面談によるアフターフォローを実施させていただいたお客さまの人数の割合です。

※3. 高齢のお客さま（75歳以上）に対しましては、優先的にご説明させていただく機会を設けました。

【取組方針6】 お客さま本位の業務運営を徹底するため体制を整備してまいります。

＜取組状況＞

・ 業績評価体系の見直し

お客さまのニーズや利益にお応えするための営業活動を適切に評価することを目的に、業績評価体系の見直しを適宜行っております。

・ 人材育成

当金庫では、お客さまが真に求める最適な商品・サービスを提供するために必要な専門知識の習得と、各種研修による人材育成を行っております。

＜自主的KPI：FP3級以上技能士取得者状況＞

	役職員数	取得者数	役職員数に対する取得率
2019年3月末現在	646	527	81.58%
2020年3月末現在	635	530	83.46%

※取得者数は1級、2級、3級の延べ人数です。

＜自主的KPI：預かり資產業務に関連する研修受講人数（2019年度）＞

マネープランナー外部研修への派遣	7名
マネープランナー対象の研修	172名
マネーアドバイザー対象の研修	80名
2年目職員等が対象の預かり資産集中講座	66名
外部講師による営業店職員向け研修	89名
マネープランナーによる営業店職員向け研修	262名

※受講人数は延べ人数です。